



外商統括部分会News

今回のテーマ

個人外商グループ三越外商職場懇話会(5月30日開催)報告

1. 25年4月～組合役員体制について
2. 25年4月メンバーズVOICEの声について
3. 25年度三越外商年度方針について



5月30日(金)に、三越外商の佐々木部長、野村マネージャーとの職場懇話会を開催し、上記3つのテーマについて報告をし、意見交換を行いました。職場懇話会の主な内容についてお伝えをします。

1.25年4月～の組合役員体制について

4月～の組織の見直しや人事異動に伴い、組合役員体制の一部変更があり、法人外商から新たに亀山さん、組織再編によりグローバルCS担当より山中さん、三田さんが職場委員として加わり、新体制となっております。

2.25年4月メンバーズVOICEの声について

4月に実施をしました「メンバーズVOICE」につきまして、メンバーの皆さんからいただいた意見について、代表的な内容をお伝えしました。

● 主な声は以下の通りです

①賞与加算要求について

- ・ 連結、単体とも、営業利益目標を大幅に達成した一方で、賞与加算要求ヶ月が想定に比べ低く驚いている
- ・ 足元の業績について、正直鈍化も感じているし、加算をしていただけるだけで有り難い。
- ・ フェロー社員の一時的金要求について、本年は要求無しの方針について、頭ではわかっているけど、1万円でもあれば…

②エルダースタッフの制度改定について

- ・ 新評価制度を踏まえて、マネージャーも今年度の役割を与えてほしい。
- ・ 待遇が良くなったこと、本当に嬉しく、がんばって働こう！と励みになる。
- ・ 「プライベートスタイリスト」の名称について。名刺への記載を拒否され疑問。期待役割が変更され、メンバーのモチベーションへの考慮も必要では。

③その他

- ・ 出張時の宿泊上限金額について、逸品会、丹青会などで都内の宿泊について、土・日になる事もあり9,500円の上限で探すのは困難。

佐々木さんからのコメント

- ・ ②の名刺作成基準については、お客さまを含めた対外的な分かりやすさや職務のあり方など、メンバーのモチベーションにも直結するため、ある程度柔軟な呼称の運用が必要なのではないかと思っています。引き続き、所管部署への相談を行っていく。
- ・ ③の出張時の宿泊代については、都内にとどまらず、地方へ出張する場合でも同様であり、全社通達の通り、状況を確認したうえで、適切な運用を行っていく。

3.25年度三越外商年度方針について

3月末に発信をされました25年度の年度方針について、その内容について組合の兼任役員を中心に意見を集約を行い、以下の内容についてお伝えをしました。

● 主な内容は以下の通りです

①発信時期、発信方法について

- 年度末(月末)の発信であったため、理解度は課題では。
→第2担当では、石崎さんから骨子の説明あり(5月8日)。
- 動画のみの視聴の是非
→年度方針を基に各営業担当の方針や目標に落とし込むことを考えると、資料の共有が無いのは厳しい。
→見たい内容をピンポイントで確認すること、理解を深めるために資料共有をお願いしたい。

②予算設定、発信について

- 営業部としての予算の考え方の骨子について
→基本の考え方があるのであれば、それをメンバー迄共有していただきたい。その内容を基にした各担当単位の予算の落とし込みであれば納得性が高まる。
- 予算の設定時期について、5月初旬に各SMより共有がされたが、4月はある意味予算が無い状態。何を目標とすべきかが見えていない中で営業を行っている。
→仮に4月は暫定予算的な物を組んでほしい。営業部の考え方に沿って仮の予算を組み、それを落とし込んでいただくと多少の納得性と目標意識に繋がる。

③トスアップ推進会議について

- トスアップ、ダウンの定義について
→考え方、定義についての理解度が課題。その点の共有をしていただきたい。第1担当にはトスアップが無いなども本来の姿なのか？

④その他

- データ伴走MTGの強化
→異動者は特に良い。外商施策や営業方法等分からないことも、そのレクチャーにもなると思う。
- 次世代人材の育成
→エルダー(前任)と新担当と一緒に周る仕組みのため、うまく引継ぎができ、育成に繋がっている。

※佐々木さんのコメントは次ページに掲載



3.25年度三越外商年度方針について

佐々木さんからのコメント

・（今回組合側からの意見集約の内容については）外商部として認識している現状の皆さんの意見が反映されていると考える。これまでも様々な観点から業務改革に取り組んでおり、細かな事項から解決困難と思われていた事項も複数改善の道筋をつけてきているが、部内への浸透も含め、100%完全な実現というまでには至っておらず、まだ道半ばであると感じている。しかしながら、「どんな小さなことでも意見を言えば、議題に上がる場がある」ということは年々部内に浸透してきていると感じている。

・①の年度方針の発信時期については、新年度に向けていち早く考え方を共有し、4月1日より新たな気持ちでスタートをしたいという思いから、例年可能な限り3月中に発信を行ってきた。そこはご理解をいただきたいと思う。今年度は、説明会を3回実施し、100人強の方にリアルで出席いただいた。

・リアル説明および動画視聴での情報共有を行い、資料そのものの配布が個々人に行き渡っていないというご意見については①過去の事例（社外に書類が流れたとみられる節がある）を踏まえ、情報管理上の観点から広い範囲での配布は行っていない（注目されている「外商ビジネス」だけに注意が必要という認識） ②特に今年度は当部としても真価発揮の年度となるという予測もあり、自分から自分の言葉で直接説明することで、内容の真意をより深く理解して欲しいという考えからである。一方、理解浸透していくための資料共有の要望、必要性は理解しており、今後情報管理を徹底したうえで、検討していきたい。

・②の予算設定・発信については、積年の課題と捉えている。本年は5月に行ったが、外商の特性として、組織改正や定期人事異動に伴う口座移管が発生するため、きめ細かい配慮を反映させるために、一定程度の時間が必要な状況であるということをご理解いただきたい。

・予算の考え方については、現状課題の共有や進め方など、担当長及びSM・スタッフと複数回にわたる議論を行ったうえで決めている。現状の諸課題を踏まえたベターな考え方であることをご理解いただきたいと思う。

・個人別に4月予算がないことは課題として認識している（現状は部門予算のみ）。例えば、方針を示し、個々人で組み立てられるよう検討していく。また、時間を要するが、システム改善も含めて検討していきたい。

・③のトスアップ（口座移管）については、スピード感を持って取り組んでいきたい。年度方針にも示している通り、良い意味での個客の新陳代謝を進めたいと思っている。そのような中、「第一担当へはトスアップがされない」という誤った情報があるようだが、そのような考えは持っていない。幅広くトスアップがされることが目的であり、その個客に合わせた対応が出来るよう、SMも含めたトスアップ推進会議で議論したうえで、新担当者を決定するというプロセスを取っている。



【労働組合】 働く環境を中心に、日頃職場で起きていることへの疑問などがありましたら下記担当までご連絡ください。

執行委員：（兼任）染谷・石津／（専従）佐藤 その他の役員は右のQRコードを参照ください。

ID：10から始まる個人コード10桁、パスワード：西暦生年月日

